

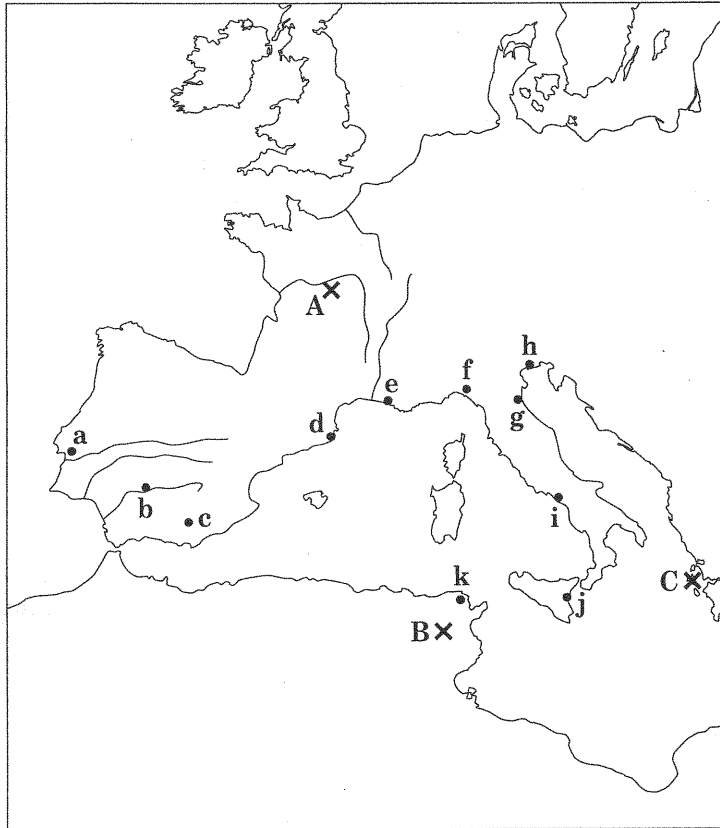
## 世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 13 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
●	○ ⊗ ○

〔I〕 次の地図にある記号 a～k は都市を，記号 A～C は軍事衝突の戦場を示す。この地図を参照し，以下の文章を読んで，下記の問いに答えなさい。



古代から中世にかけて，地中海世界の東と西では歴史の歩みに違いがあった。東地中海の住民であったギリシア人は早くから西地中海に進出し，ネアポリスやシラクサあるいは ア（現在のマルセイユ）など，沿岸部各地に植民市を築いた。同じく東地中海からのフェニキア人は，北アフリカに商業都市国家を建設した。それら入植地の多くは現地住民との交易を目的とした拠点であり，武力による領土拡大を目指したものではなかった。ところが，イタリア半島の小都市に過ぎなかったローマは戦争によって支配地域を拡大し，イタリア半島を統一した<sup>(1)</sup>後も，対外進出の征服戦争を続けた。その結果ローマは，西地中海にとどまらず

東地中海をも武力で制圧し、各地域を属州として併合して地中海世界全域にわたる大帝国となった。

しかし、「ローマの平和」と呼ばれる繁栄の時代が終わると、ローマ帝国は内部<sup>(2)</sup>での権力闘争と外敵の脅威の増大によって、地中海の統一支配が困難になった。

そして、ローマ帝国の政治や経済の中心地域は東の都コンスタンティノーブルに移り、西ローマ帝国は476年に滅亡した。西地中海世界には民族大移動の結果ゲルマン人の国々ができたが、フランク王国をのぞいては長続きしなかった。6世<sup>(3)</sup>紀には東のビザンツ帝国により地中海世界が再び統一された。イタリアの

(イ)にあるサン=ヴィターレ聖堂のモザイク画には、その時のビザンツ皇帝が描かれている。

7世紀には、アラビア半島に興ったイスラームが、その勢力を地中海世界にまで及ぼした。8世紀に入ると、イスラーム軍はイベリア半島を征服し、フランク王国を脅かした。歴史家アンリ=ピレンヌは、そのようなイスラームの脅威があったからこそ、カロリング朝の強力な王権が成立したと論じている。イベリア半島には<sup>(4)</sup> (ウ)を都とする後ウマイヤ朝が成立し、美術や建築の分野では西ヨーロッパとイスラームの文化が混じり合った独特の様式ができあがった。

他方で、イベリア半島のキリスト教徒の勢力は、征服された国土を奪回する運動<sup>(5)</sup>を起こし、その中で強力な指導力をもった君主による専制国家が産み出された。それらの国は失地回復を完了すると、ローマ教皇にカトリック世界の拡大という使命も与えられて、地中海の外へ積極的に進出していった。

問 1 空欄(ア)～(ウ)にもっともふさわしい都市を地図中の記号 a～k から選び、あわせてそれぞれの都市名を答えなさい。

問 2 地図中の A～C の記号で示した戦場で起こった軍事衝突にもっともふさわしい内容を、次の(イ)～(ト)から選びなさい。

- (イ) アルプスを越えて侵入したハンニバル軍にローマ軍が大敗を喫した。
- (ロ) スキピオ率いるローマ軍がカルタゴ軍に対し決定的な勝利を収めた。
- (ハ) バトゥ率いる遠征軍によってヨーロッパの連合軍が撃破された。
- (ニ) オクタヴィアヌス率いるローマ軍がプトレマイオス朝に勝利した。
- (ヒ) アッチラ率いるフン族の軍勢がローマ・ゲルマン連合軍に敗れた。
- (ヘ) 宮宰カール＝マルテルの活躍でイスラーム勢力の進軍が阻止された。
- (ト) オットー 1 世の勝利でマジャール人のヨーロッパ侵入が阻止された。

問 3 下線部(1)に関連して、次に示す地域をローマが征服した順に並べなさい。

- (イ) エジプト      (ロ) ガリア      (ハ) シチリア      (ニ) ヒスパニア

問 4 下線部(2)に関連して、次の(イ)(ロ)(ハ)の内容にふさわしい人名または語句を答えなさい。

- (イ) 「哲人皇帝」と呼ばれた五賢帝最後のローマ皇帝が著した哲学作品
- (ロ) 26 人が次々と即位し、うち 24 人が殺された 235～284 年の混乱時期
- (ハ) 帝国領土を 4 分割し、二正帝と二副帝の分担統治体制とした皇帝

問 5 下線部(3)に関連して、地中海世界を再度統一する過程でビザンツ帝国が滅ぼしたゲルマン人の国家を一つ答えなさい。

問 6 下線部(4)に関連して、イスラームの脅威を経験した後にフランク王国が歩んだ歴史になるように、次の出来事(い)～(ほ)を起きた順に並べなさい。

- (い) メルセン条約
- (ろ) カールの戴冠
- (は) ヴェルダン条約
- (に) ピピンの教皇領寄進
- (ほ) 神聖ローマ帝国の成立

問 7 下線部(5)に関連して、この運動の敵対勢力となった11～12世紀のベルベル人のイスラーム王朝を答えなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

かつて、中国文明の起源は黄河文明だけであると考えられていた。ところが河姆渡遺跡の発見により、長江下流域で早くから  の栽培が始まっていたことがわかった。とはいえ、長江下流域は低湿地が多く、水利技術の向上なくしては耕地の拡大も人口の増加も望めない。そのため、黄河流域では遅くとも紀元前 1000 年代に  とよばれる都市国家が各地に形成されたのに対し、長江下流域における国家形成は遅れた。中原諸国に対抗する勢力が長江下流域に出現するのは春秋末期で、これらの勢力は一時強勢を誇ったものの、やがて中原勢力に同化された。その後も長らく、長江下流域の政治勢力が中原の勢力を圧倒することはなかった。

中国で南北の人口比が逆転するのは宋代といわれている。この時代は商品経済が発展し、長江下流域には蘇州や  のような大都市が成長し、交通の要所に  とよばれる小都市が成長した。上海はそうした小都市の一つで、元代の初めには県に昇格するが、明代に城壁を築くまで、たいした防備ももたない商業都市だった。清代初期に海禁政策が施行されるが、それが解除されると、上海は急速に発展し「東南の都会」とよばれるようになる。

この上海に目をつけたのがイギリスである。18 世紀、中国は空前の繁栄をむかえており、ヨーロッパとの貿易も拡大していった。貿易のさらなる拡大を求めイギリスでは、このころから上海を獲得しようとする動きがあり、アヘン戦争によってイギリスが上海に  を設置すると、上海は東アジア有数の国際都市へと発展していく。19 世紀末以降、イギリスや日本など列強の企業・工場が進出するが、やがて中国資本の企業・工場も成長し、上海は中国と列強との利害対立の焦点となる。また民主主義や社会主義などヨーロッパのさまざまな思想も上海を經由して流入し、上海は政治運動や社会運動の拠点にもなっていった。 は第二次世界大戦中に撤廃されるが、中華人民共和国が成立すると、上海は政治的混乱のために経済が長らく停滞することになる。1980 年代になると、上海は国際都市としての顔を取り戻し、2010 年には万国博覧会が開催され、その発展ぶりを世界に示した。

- 問 1 空欄(ア)～(エ)に、最も適切な語句を入れなさい。
- 問 2 下線部(a)について、春秋末期の長江下流域の勢力を一つあげなさい。
- 問 3 下線部(b)に関連して、長江下流域に王朝を立てて、はじめて中国を統一したのは誰か。その王朝と創始者を答えなさい。
- 問 4 空欄Aは、大運河の南の終点で、マルコ＝ポーロ『世界の記述(東方見聞録)』に「キンザイ」の名で登場する。この都市の名を漢字で記入しなさい。
- 問 5 下線部(c)について、城壁を築く契機となった海上勢力は、当時何とよばれたか。
- 問 6 下線部(d)の海禁政策はなぜ施行されたのか、その目的を簡潔に答えなさい。
- 問 7 下線部(e)に関連して、中国との貿易拡大にともなってヨーロッパで起きた文化的流行は何か。
- 問 8 下線部(f)について、貿易の拡大を求めて中国へ派遣され、当時の乾隆帝に謁見したものの、目的は果たせず帰国したイギリスの使節は誰か。
- 問 9 下線部(g)について、開港場における列強の企業・工場設立を認めた条約は何か。
- 問10 下線部(h)について、10年間にわたって上海をはじめとする全国の経済に停滞をもたらした政治闘争は何か。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

われわれ人類は、長い歴史の過程で生き残るために、知恵をしぼり、多くの技術を生みだし、伝達してきた。

新人(現生人類)が、旧人と異なり現在にまで生き延びた理由として、脳<sup>(a)</sup>の巨大化、道具の技術革新、あるいは複雑なことばを操ることができたことなどが指摘されている。その後人類は、ことばや絵を記録することをはじめた。北アフリカの砂漠やスペインのアルタミラ洞窟・南フランスの ア 洞窟には、躍動的な動物の群れや狩猟の様子などが描かれた絵が残されている。古代エジプト文明では、記録を残す媒体として、パピルス<sup>(b)</sup>が用いられた。このパピルスは、厳密な意味での紙とはいえないが、今日の英語の紙を意味するペーパーの語源になった。パピルスのほかに羊皮紙や獣皮紙も、記録媒体として用いられたが、これらも厳密な意味での紙ではなく「皮」であり、製造に手間がかかり、高価だった。

紙は、中国で発明された。前漢時代の紙が近年発見され、従来、製紙法の「発明者<sup>(c)</sup>」といわれてきた後漢時代の人物は、今日では「改良者<sup>(d)</sup>」であると考えられている。この人物は、ぼろ布や麻などの繊維をすいて紙を作ったといわれている。751年、唐の軍がイスラーム軍とタラス河畔で戦った際、捕虜となった唐兵の中に紙すき工<sup>(e)</sup>がおり、彼が現地の人々に製紙技術を伝えた。イスラーム教徒は製紙技術<sup>(f)</sup>を学び、サマルカンド・バグダード・カイロなどには製紙工場がたてられた。アッバース朝時代の文書の素材に関する研究によれば、8世紀から10世紀の間に、パピルスと紙の使用率が逆転するといわれている。ただし、イスラームの啓典コーラン(クルアーン)は、羊皮紙に特別な書体で書かれる伝統があった。その後、製紙技術<sup>(i)</sup>は、北アフリカからイベリア半島を経由して、12・13世紀ころ<sup>(j)</sup>によりやくヨーロッパへと伝わったのであった。

製紙技術の普及に加えて、印刷技術の開発<sup>(k)</sup>は、後世の人々へ情報を短期間に、広い地域へ伝達することを可能にした。製紙および印刷技術の開発と発展とは、ことばを操ることができた人類を飛躍的に進化させたといえるだろう。ルネサンスの三大発明といわれる火薬・羅針盤・活版印刷技術のいずれもが、中国に起源をもち、西方へと伝えられた人類の知恵であった。



問 1 下線部(a)に関連して、新人(現生人類)がはじめたこととして、誤りを一つ  
選びなさい。

- A. 磨製石器の使用
- B. 弓矢の使用
- C. ドルメン・メンヒルなどの巨石記念物の建造
- D. 死者の埋葬

問 2 空欄(ア)に最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ラスコ
- B. タッシリ=ナジェール
- C. オルドヴァイ
- D. ジャルモ

問 3 下線部(b)に描かれた「死者の書」に表された死生観として、最も適切なもの  
を一つ選びなさい。

- A. 目には目、歯には歯
- B. 輪廻転生
- C. 霊魂の不滅と死後の世界
- D. 仙人と不老不死

問 4 下線部(c)に関連して、紙が発明される以前、中国では様々な素材が利用さ  
れたが、下の写真の文字を残した素材として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 石
- B. 亀 甲
- C. 木 片
- D. 青銅器



問 5 下線部(d)について、この人物名を一つ選びなさい。

- A. 李 陵            B. 鄭 玄            C. 劉 向            D. 蔡 倫

問 6 下線部(e)の戦いに関連する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. サーマーン朝が、存亡をかけて唐への勢力拡大を意図した。  
B. この戦い以降、唐の中央アジアへの影響力は減退した。  
C. 唐軍を率いた人物は、高仙芝だった。  
D. この戦い以降、中央アジアにおけるイスラーム化が促進された。

問 7 下線部(f)に関連して、諸事項(あ)～(え)を、起きた順に並べたものを一つ選びなさい。

- (あ) 第4代カリフ、アリーが暗殺された。  
(い) 預言者ムハンマドがメッカからメディナに聖遷した。  
(う) コーランが、今日のような形に編集された。  
(え) イスラーム軍は、ササン朝軍とのニハーヴァンドの戦いに勝利した。

- A. (い)→(え)→(う)→(あ)  
B. (え)→(い)→(あ)→(う)  
C. (い)→(う)→(あ)→(え)  
D. (え)→(う)→(あ)→(い)

問 8 下線部(g)に関連して、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 南北朝・隋唐時代の中国では沙州と記された。  
B. イル＝ハン国の都だった。  
C. 15世紀にウルグ＝ベクの天文台がつくられた。  
D. 現在、キルギスタン共和国の都市である。

問 9 下線部(h)について、そのアッバース朝時代に関する記述として、誤りを含  
むものを一つ選びなさい。

- A. 円形の城壁で囲まれた都市である。
- B. 最盛期のバグダードの人口は 10 万人にのぼった。
- C. ギリシア語の文献をアラビア語へ翻訳する機関が設置された。
- D. 「平安の都」とよばれ、国際商業の中心都市となった。

問10 下線部(i)について、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. コーランは、預言者ムハンマドが神の啓示を書きとめたものである。
- B. イスラーム法は、コーランとハディース(言行録)が基盤となっている。
- C. コーランにおいては、イエスやモーセは預言者とはみなされていない。
- D. コーランは、黙読することが推奨されている。

問11 下線部(j)に関連して、製紙技術にかかわるイスラーム文化についての記述  
として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. イブン＝シーナーの『医学典範』は、西欧の大学で教科書とされた。
- B. フワーリズミーは、代数学(アルジェブラ)を発達させた。
- C. 偶像崇拜も認められ、人物画がさかんに描かれた。
- D. イブン＝ハルドゥーンは、『世界史序説』で歴史理論を論じた。

問12 下線部(k)に関連して、諸事項(あ)～(え)を起きた順に並べたものを一つ選びな  
さい。

- (あ) 宋の太祖は、大蔵経を木版印刷させ、成都で出版した。
- (い) 奈良時代に百万塔陀羅尼が印刷された。
- (う) ゲーテンベルクによって活版印刷技術が開発された。
- (え) 金属活字が高麗で実用化された。

- A. (う)→(あ)→(い)→(え)
- B. (あ)→(い)→(う)→(え)
- C. (い)→(あ)→(え)→(う)
- D. (え)→(い)→(あ)→(う)

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

18世紀のエジプトは、オスマン帝国の属州であったが、実質的にはマムルークの支配下にあった。しかし、1798年ナポレオン指揮下のフランス軍がエジプトに侵攻して、マムルーク軍を破り、カイロを占領した。オスマン帝国はアルバニア人傭兵隊将校としてムハンマド＝アリーをエジプトに派遣し、ナポレオン退却後に彼を総督に任命した。

ムハンマド＝アリーは、国内のマムルーク勢力を一掃するとともに、エジプトの近代化を強力に推進した。彼はオスマン帝国の要請でアラビア半島へ出兵し、さらに領土拡大をはかってスーダンを占領した。また、シリアの領有を要求して、オスマン帝国と二度にわたって戦い、勝利した。このような彼の野心は、西欧列強の介入を招くことになった。

オスマン帝国の衰退とともに、エジプトは帝国から事実上自立し、富国強兵をめざしてさまざまな政策を実施した。スエズ運河の開削もそのひとつであった。しかし、そのために国家財政は破綻し、1875年エジプトはスエズ運河会社の持株をイギリスに売却し、運河の管理権を譲渡した。さらに1876年からは国家財政も英仏の管理下におかれた。

このような列強の内政干渉に対し、「エジプト人のためのエジプト」を主張して、1881年〔ア〕が武装蜂起した。これはエジプトにおける民族運動の出発点とみなされている。しかし、1882年イギリスが単独出兵してこれを鎮圧し、エジプトを事実上保護国化した。

これ以後エジプト民族運動は下火になるが、ウラマーの一人としてこの民族運動に積極的に参加した〔イ〕は、その後近代的な要素を取り入れたイスラーム改革を主張した。また、〔ウ〕は国民党を組織して完全独立をめざす運動を展開した。

他方、エジプトの植民地であったスーダンでは、〔エ〕とその後継者が、1881年からエジプト・イギリスの連合勢力と戦い、各地でエジプト軍に勝利し、1885年にはイギリス軍をハルツームに破って、スーダンを統治した。

第一次世界大戦後、独立を要求するためにヴェルサイユ講和会議にエジプト代

表団を派遣しようとしたワフド運動が、反英独立闘争の口火を切った。1922年にはイギリスは保護権を放棄し、1924年にワフド党が政権についた。1936年にはエジプト=イギリス同盟条約が締結された。<sup>(f)</sup>

第二次世界大戦末期に青年将校たちは自由将校団を結成し、1952年エジプト革命を遂行し、翌年エジプト共和国を樹立した。ここに1805年以來続いたムハンマド=アリー朝が幕を閉じた。以後エジプトは、ナセルの指導のもとでアラブ民族運動の中心となった。<sup>(g)</sup>  
<sup>(h)</sup>

問 1 空欄(ア)から(エ)に最も適切な人名をそれぞれ一つ選びなさい。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| A. ムハンマド=アフマド | B. アフガーニー        |
| C. ムスタファ=ケマル  | D. ムハンマド=アブドゥフ   |
| E. アフマド=ウラービー | F. サイド=アリー=ムハンマド |
| G. ハサン=アルバンナ  | H. ムスタファ=カーミル    |

問 2 下線部(a)に関連して、このエジプト遠征でロゼッタ=ストーンが発見されたが、そこに書かれた神聖文字の解読の鍵となった文字を一つ選びなさい。

- |           |          |
|-----------|----------|
| A. ギリシア文字 | B. アラム文字 |
| C. ヘブライ文字 | D. キリル文字 |

問 3 下線部(b)に関連して、この時エジプトが滅ぼした国を一つ選びなさい。

- |              |          |
|--------------|----------|
| A. サウジアラビア王国 | B. イエメン  |
| C. ワッハーブ王国   | D. クウェート |

問 4 下線部(c)に関連して、1840年のロンドン4国条約の説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. ムハンマド=アリーにエジプト総督の世襲を承認した。
- B. エジプトのシリア領有を放棄させた。
- C. ムハンマド=アリーにスーダン総督の世襲を承認した。
- D. イギリス・フランス・ロシア・オーストリアの間で締結された。

問 5 下線部(d)に関連して、運河を建設した人物を一人選びなさい。

- A. クレマンソー
- B. レセップス
- C. オスマン
- D. ギゾー

問 6 下線部(e)に関連して、スエズ運河会社の株を買収した人物を一人選びなさい。

- A. ディズレーリ
- B. グラッドストーン
- C. セシル＝ローズ
- D. ジョゼフ＝チェンバレン

問 7 下線部(f)について、この条約の内容として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. エジプトに完全な主権を承認した。
- B. スエズ運河地帯におけるイギリス軍の駐兵を承認した。
- C. イギリス軍と官吏の退去を定めた。
- D. スーダンからのイギリス軍の撤退を定めた。

問 8 下線部(g)に関連して、自由将校団の団長でありエジプト共和国初代大統領になった人物を一人選びなさい。

- A. カセム
- B. ムバラク
- C. ナギブ
- D. サダト

問 9 下線部(h)に関連して、ナセルがおこなったことのうち誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. エジプト＝イスラエル平和条約を締結した。
- B. アスワン＝ハイダムを建設した。
- C. スエズ運河を国有化した。
- D. シリアを併合しアラブ連合共和国を樹立した。